

8月

サンセイランディック関西便り Vol.76

平成30年8月号

サンセイ ニュース

さて8月です。暦上では8月は立秋を迎え、秋がもう間もなくという時期ではございますが、まだまだ照り付ける太陽の日差しがとても厳しいものであります。ただこの季節はビールが美味しく、BBQや盆踊り等、夏の催しがとても楽しいものではあります。ただ熱中症にはお気を付けてください。特に子供や高齢者、屋外で働いている営業マン等は熱中症になりやすくなっておりますので、こまめに水分・塩分補給をし気を付けていきましょう。

さて、弊社は皆様にご存知頂いているかと思いますが、底地や居付き物件の権利調整事業を専門に行っている会社です。権利調整事業を行う中で一番気を付けなければならないことは、やはり借家権者・借地権者様と真摯に向き合い、権利者様にとって最良のご提案をすることです。

そこで最良のご提案をするべく、私は様々な事例を調査している内に興味を持ったものがあります。それは日本ではなく他国での権利調整事業です。ある国では社会主義国家であるが為に、国民に土地の所有権を認めておらず、政府が国民に対して使用権を与えているだけであるというのです。その為、国が「土地を貸さない」と言えば強制的に立退きがまかりとおってしまうというのです。中には転居を拒否する住民に対して、一方的に建物を解体する等の行為にうつることもあるようです。ただし、そのような状況の中でも急激に経済成長を遂げている背景があり、何が正しいのかと言われれば難しいことではあります。

上記のものは国が行っているものであり、民間の事業ではないのですが、私が何を申し上げたいのかと言いますと、弊社サンセイランディックは権利者様に対して、無理矢理立退きを行うような交渉をせず、その後も喜んで頂けるように提案を行い、権利調整事業に取り組んでおります。そして、昨今では会社のコンプライアンスが注目されている世の中ではございますが、弊社は仕入れ先様にも、また買主様にもご迷惑をおかけすることがないよう心掛け業務を行っております。不動産事業というものは複雑な権利関係により、様々な問題も予見されることがありますが、まずは一度底地や居付き物件がございましたら、弊社までご連絡下さい。

社員の 独り言

8月は一年の中で一番楽しみにしている行事がございます。それは徳島でお盆に行われる「阿波踊り」です。両親の実家が徳島ということもあり、ホテルの予約を取る必要もなく、ここ数年は友人を連れて一緒に楽しんでおります。阿波踊りを見たことが無い友人は、町内会で行われる盆踊りが少し大きくなった程度ではないかと言いますが、実際に見ると規模の大きさに圧倒され、童心に戻ったかのように楽しんでおります。徳島の中心部一体がお祭り状態で屋台もたくさん出ており、お酒が本当に美味しく感じます。というよりお酒が目当てになりつつもありますが……。

ホテル宿泊客は翌年の予約をしてから帰ると言われるほど、阿波踊りは人気のお祭りです。阿波踊りの他にも「渦潮」「祖谷のかずら橋」「大塚国際美術館」等、実は沢山観光スポットがあるんですよ。皆様も機会がございましたら、是非とも徳島県に一度行ってみたいですね。

営業：藤田



証券コード:3277

底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 関西支店
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1
あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル3階
TEL: 06-4706-0040 FAX: 06-4706-0045

底地くん

